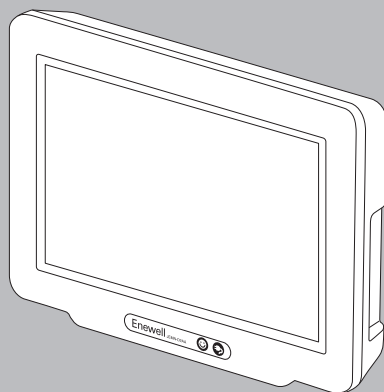


太陽光発電システム用 表示システム
Enewell
取扱説明書

形式 JEMN-F2AA

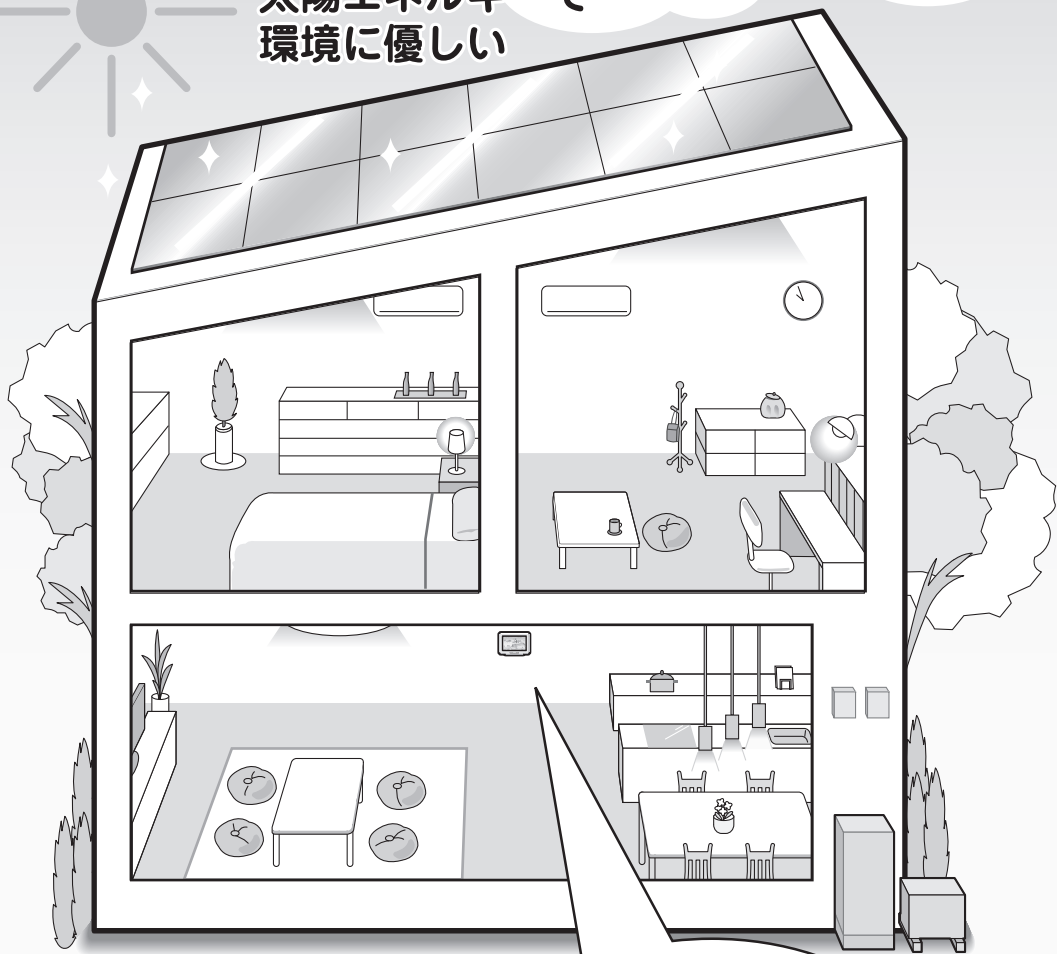


Enewell

- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつでも内容を参照できるように、お手元に保管してください。
- 本書は製品保証書を兼ねています。(巻末にあります。)紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証書に記載されている内容をご確認ください。

本製品は日本国内用です。
日本国外では使用できません。
また、日本国外ではアフターサービスを受けることもできません。

太陽エネルギーで
環境に優しい



発電量を金額や CO₂ 削減量
に換算して分かりやすく表示

タッチパネルで
かんたん操作

節電目標達成状況など
省エネに役立つ機能を搭載



もくじ

ご使用になる前に

安全・ご使用に関するご注意	4
太陽光発電システムとは	8
梱包内容の確認	9
設置と電源	10
壁に設置する	10
卓上に置く	11
ACアダプタを接続して電源を入れる	11
各部の名称と機能	12
SDカードの取り付け/取り外し	14
画面の見かたと操作	16
ステータスバーについて	17

電力データを確認する

ホーム画面で稼働状況を確認する	18
電力フローモードで確認する	18
壁紙モードで確認する	19
グラフやリストで経過を確認する	20
グラフで確認する	20
リストで確認する	21

便利な機能を利用する

計測データをSDカードに保存する	22
ランキングを表示する	23
異常や抑制の履歴を確認する	24
異常履歴を確認する	24
電圧上昇抑制履歴を確認する	25
節電目標の達成状況を確認する	26
達成状況を確認する	26
節電目標を設定する	27
時間帯別の消費電力量を確認する	28
過去の発電量と比較する	29
パソコンで確認する	30
パソコンを接続する	30
パソコンに表示する	31
計測データをパソコンに保存する	31

各種設定を行う


画面に関する設定を行う	32
ホーム画面のモードを設定する	32
画面の点灯について設定する	33
スクリーンセーバーを設定する	34
お知らせ機能の設定を行う	35
履歴や各種設定をリセットする	36
日時と操作音の設定を行う	37
計測ユニットとの通信設定を行う	38
接続方法①	40
接続方法②	41
接続方法③	41
接続方法④	42
接続方法⑤	43
接続方法⑥	44
接続を確認する	45
抑制表示の設定を行う	46


付録

故障かな?と思ったら	47
エラーコード一覧	48
こんなときは	50
製品仕様	51
ECHONET Lite 対応プロパティ	52
オープンソフトウェアについて	53
商標・登録商標など	53
保証とアフターサービス	54

安全・ご使用に関するご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みいただき、必ずお守りください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または物的損害※に結びつくもの。

※物的損害とは、家屋や家財、または家畜やペットなどにかかわる拡大損害を意味します。

本文中に使用している図記号の意味は次のとおりです。



「禁止」事項



「実施」事項

ご使用になる前に

警告

ぬれた手で触れたり、水の中に入れて、水をかけたりしない
防水仕様ではありません。
火災・感電・漏電・故障の原因となります。



カバーを外したり、分解・改造・修理をしない
火災・感電・漏電・故障の原因となります。



近くにガス類や引火物を置かない
火災・感電・漏電・故障の原因となります。



心臓ペースメーカーや補聴器などの医用機器を使用している人が接近する可能性があるところでは使用しない



医療機関が無線 LAN の使用を禁止している区域では使用しない



通信ケーブル差し込み口キャップや SD カード（別売）は、小さなお子様の手の届く場所に置かない
誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師の診断を受けてください。



電気工事は必ず専門業者に依頼する
誤った工事は、火災・感電の原因となります。



屋内に設置する
本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。火災・感電・漏電・故障の原因となります。



高温・多湿・ホコリの多い場所を避けて設置する
火災・感電・漏電・故障の原因となります。



本製品が発する通信電波が医用電気機器に与える影響は極めて少ないですが、安全管理のため本製品は医用電気機器から十分離して使用する



警告

AC アダプタは確実にコンセントに差し込む

火災・感電・漏電・故障の原因となります。



定期的に AC アダプタのコンセントのホコリを取り除く

火災・感電・漏電・故障の原因となります。



異臭・異音などが発生した場合は次の処置を行った後、販売店または専門業者に連絡する

- ・表示ユニットから発生した場合は AC アダプタをコンセントから外してください。
- ・計測ユニットから発生した場合は太陽光発電ブレーカ及び接続箱内のすべてのブレーカを切ってください。そのまま使用すると、火災・感電・漏電・故障の原因となります。



注意

AC アダプタのコードを無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



AC アダプタは布や布団などで覆ったり包んだりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因となります。



掃除をする場合は、シンナーなどの有機溶剤、強アルカリ・強酸性洗剤などは使用しないでください。ケースが劣化・変色するおそれがあります。乾燥した柔らかい布を使用してください。



画面（タッチパネル）に物を当てたり、強く押さえたり、表示ユニットを落としたりしないでください。画面が割れることがあります。万一、画面が割れた場合は、割れた画面や画面から漏れた液体には触らないでください。



次のような場所には取り付けないでください。

- (1) 屋外や軒下などの雨水が当たるところ
- (2) 潮風にさらされるところ
- (3) 振動、衝撃の影響が大きいところ
- (4) 浴室内
- (5) 脱衣所、作業場、調理場などの水蒸気、油蒸気が直接当たるところ
- (6) 直射日光が当たるところ
- (7) 押入れや階段下など、換気を妨げて周辺温度が 40°C を超えるような狭い場所
- (8) 標高 2,000 m 以上の場所
- (9) じんあい（オガくず、ワラくず、粉じん、砂じん、綿ホコリ、金属粉など）が一般家庭の屋内と比較して多いところ
- (10) 台所などの炎が直接当たるおそれのあるところ



画面（タッチパネル）を強い力でこすったり、押したり、つついたりしないでください。けが・故障の原因となります。



安全・ご使用に関するご注意（つづき）

注意

直射日光の当たる場所で表示ユニットを使用しないでください。液晶の表示や色がおかしくなったり、故障の原因となります。



SD カード（別売）への書き込み中は、SD カードを取り外したり、表示ユニットの電源を切ったりしないでください。データの損失、故障の原因となります。



表示ユニットを卓上に置いて使用する場合は、不安定な場所に置かないでください。落下して破損するおそれがあります。



表示ユニットを木材以外の壁に設置する場合は、壁の材質に応じた方法でしっかり取り付けてください。落下して破損するおそれがあります。



計測ユニットの設置・配線・移動などは販売元または専門業者にご相談ください。



表示ユニットの日時を設定する場合は正確な日時を設定してください。誤った日時を設定すると、保存期間外と判断されたデータが消去されます。



無線通信に関する注意事項

この製品は、電波法で認められた「特定小電力無線局の無線設備」です。

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）、及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

- この製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、この製品から「ほかの無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止してください。混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）について、下記の連絡先でご相談ください。
- その他、電波干渉について何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先にご連絡ください。

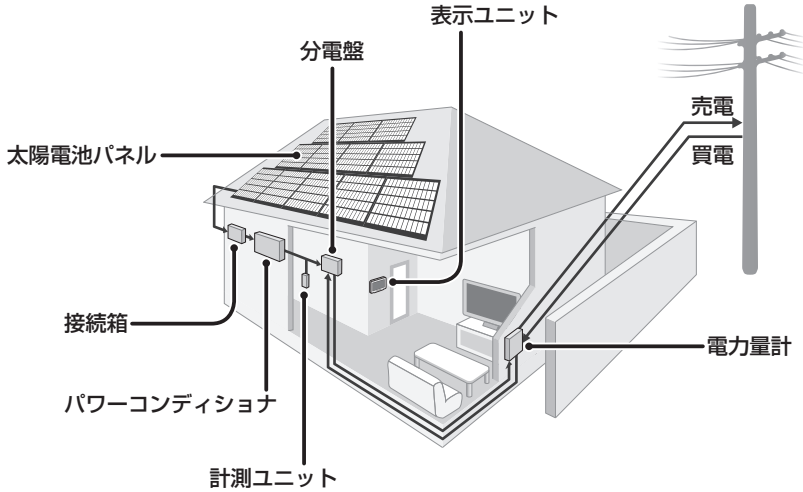
連絡先：株式会社 安川電機 環境エネルギー機器事業統括部 推進部
TEL (0930) 23-5079 福岡県行橋市西宮市 2 丁目 13 番 1 号 〒 824-8511

一般注意事項

- 表示ユニットと計測ユニット間の電波到達距離は、障害物の無い場所での水平見通し距離で約 50 m です。到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますのでご注意ください。
- 次のような使用環境では、電波ノイズなどにより電波到達距離が短くなりますので、出来るだけ使用は控えてください。このような場合では動作しないことがあります。
 - (1) 本製品間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある
 - (2) 本製品間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している
 - (3) 本製品の周辺が金属物で囲まれている（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
 - (4) 金属物の壁面に本製品を取り付けている
 - (5) 操作する人の体の向きで電波を遮っている
 - (6) 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品や OA 機器が本製品の 2 m 以内にある
 - (7) 本製品の近くで直流電圧で駆動するベルやモータなどの機器が動作している
 - (8) 本製品の近くで携帯電話や PHS 電話を使用している
 - (9) 本製品の近く（10 m 以内）でマイクロ波治療器を使用している
 - (10) 近くにテレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある
- 通信距離は使用環境により異なるため、事前に安定して通信できることを確認してから設置してください。設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に通信状態の確認を行ってください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、パソコン周辺機器、電子レンジ、IH 機器、電話機、ファックス、大きな金属製品、アマチュア無線など強い電波を出す装置の近くに表示ユニットを置いた場合は表示に影響が出るおそれがありますのでご注意ください。
- 本製品は電波法で認められた「特定小電力無線局の無線設備」の技術基準に適合しており、証明マークが貼り付けられています。証明マークの貼り付けられている製品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられることがあります。
- 本製品は省エネ目的の自主管理商品であり、計量法で定められた特定計量器ではありませんので、あくまで目安として使用してください。本製品を課金目的の計量器として使用した場合や取引または証明に使用した場合は、当社は一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障・不具合・誤動作などにより通信できずに生じた損害に対しましては、当社は一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に蓄積された履歴データ及び設定データが消失いたしましても保証しておりません。データの消失に伴う損害が発生した場合であっても、当社は一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。
- SD カード（別売）に保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してください。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。

太陽光発電システムとは

太陽光発電システムとは、太陽電池によって作られるエネルギー（直流電力）をご家庭で使用できる電気（交流電力）に変換して利用できるシステムです。



ご使用になる前に



用語解説

電力と電力量

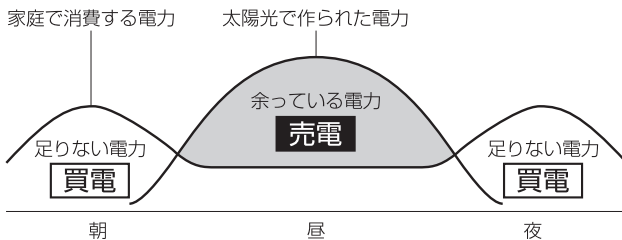
「電力」とは、その瞬間の電気エネルギーのことです。単位はkW（キロワット）です。

「電力量」とは、ある期間における電力の合計値のことです。単位はkWh（キロワットアワー）です。

売電と買電

「売電」とは、太陽光で作られた電力が家庭で消費する電力より大きいときに、余った電力を電力会社に売ることです。

「買電」とは、太陽光で作られた電力が家庭で消費する電力より小さいときに、足りない電力を電力会社から買うことです。



梱包内容の確認

ご使用いただく前に、本体や付属品がすべてそろっていることを確認してください。

■ 表示ユニット

品名	外観図	数量	品名	外観図	数量
表示ユニット (JEMN-D2AA)		1	スタンド		1
AC アダプタ		1	木ねじ (M4 × 25)		2
通信ケーブル 差し込み口 キャップ*		1	※表示ユニットに取り付けられた状態で 梱包されています。		

■ 計測ユニット

品名	外観図	数量	品名	外観図	数量
計測ユニット (JEMN-M2AA)		1	電流センサ (CT)		2
木ねじ (M4 × 25)		4	電流センサ用 ケーブル (主幹用) (5 m)		1
ケーブル固定具		1	電圧検知 ケーブル (VVF φ1.6 1.5 m)		1
ケーブル固定具 取付ねじ (M4 × 10)		2	通信ケーブル (UTP 5 m)		1
ゴムパッキン		2			

■ 説明書類

品名	外観図	数量
取扱説明書 (本書) かんたん操作ガイド 施工説明書 配線・設定ガイド		各 1

ご使用になる前に

設置と電源

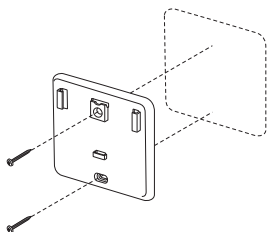
表示ユニットは壁に固定して使用する方法と卓上に置いて使用する方法があります。

設置完了後、ACアダプタを接続して電源を入れます。

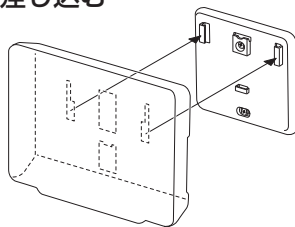
- 表示ユニットと計測ユニットの接続については▶P.38をご覧ください。
- 施工時に設置された場所から移動する場合は、無線通信の通信強度や落下などにご注意ください。

壁に設置する

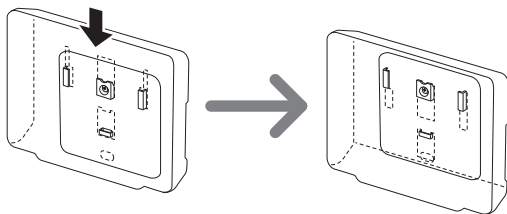
- 1 スタンドを木ねじで壁に取り付ける



- 2 表示ユニット裏面にある2箇所の穴をスタンドのフックに差し込む



- 3 表示ユニットをカチッと音がするまで下にスライドして固定する



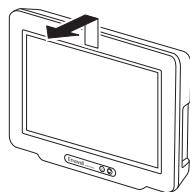
注意

- 木材以外の壁に設置する場合は、壁の材質に応じた方法でしっかり取り付けてください。



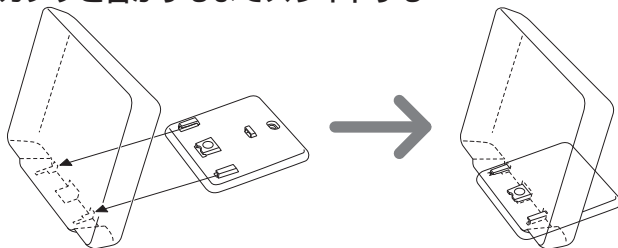
取り外す場合は

表示ユニットを上へスライドして手前に引きます。



卓上に置く

- 1 スタンドのフックを表示ユニット底面にある2個所の穴に差し込み、カチッと音がするまでスライドする

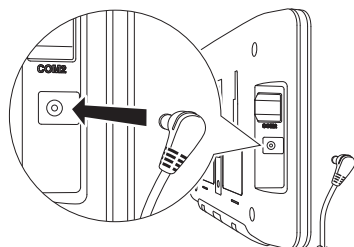


注意

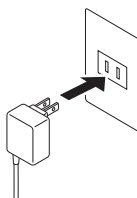
- 卓上に置いて使用する場合は落下しないようにご注意ください。落下すると破損するおそれがあります。
- テレビ、ラジオ、パソコン、パソコン周辺機器、電子レンジ、IH 機器、電話機、ファックス、大きな金属製品、アマチュア無線など強い電波を出す装置の近くに置いた場合は表示に影響が出るおそれがありますのでご注意ください。

AC アダプタを接続して電源を入れる

- 1 AC アダプタのコネクタを表示ユニット左面にある AC アダプタ差し込み口に差し込む
- 2 AC アダプタのプラグをコンセントに差し込む



- 電源が入ります。
- ホーム画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。



各部の名称と機能

■ 表示ユニット

通信ケーブル差し込み口

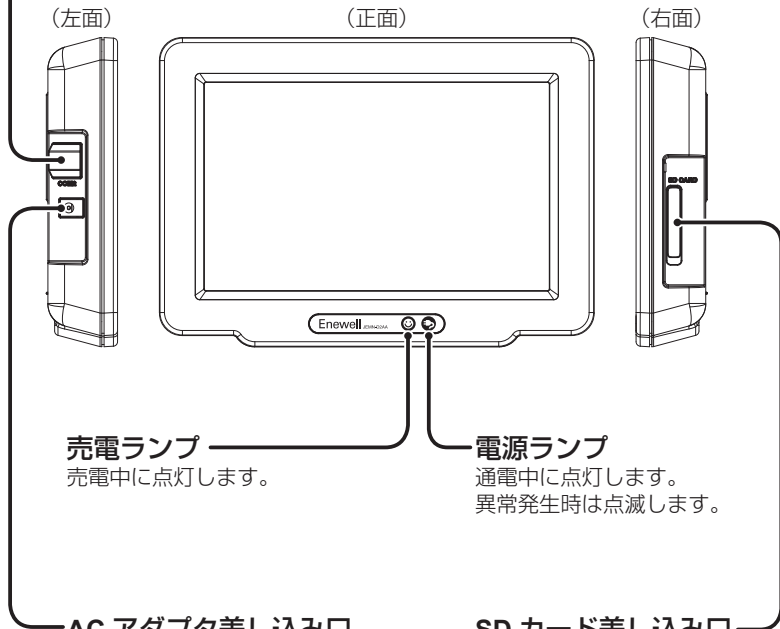
計測ユニットやルーターと有線で接続するときに通信ケーブルを接続します。

- 無線で接続する場合は同梱のキャップを取り付けてください。

(左面)

(正面)

(右面)



売電ランプ

売電中に点灯します。

電源ランプ

通電中に点灯します。
異常発生時は点滅します。

ACアダプタ差し込み口

ACアダプタのコネクタを接続します。

SDカード差し込み口

SDカード(別売)を差し込みます。

▶ P.14

■ 計測ユニット

無線設定ボタン

表示ユニットやルーターと無線で接続するときに押します。

LED1

表示ユニットやルーターとの接続状態を示します。

緑点滅：無線接続設定中

オレンジ点灯：ルーターと無線接続完了

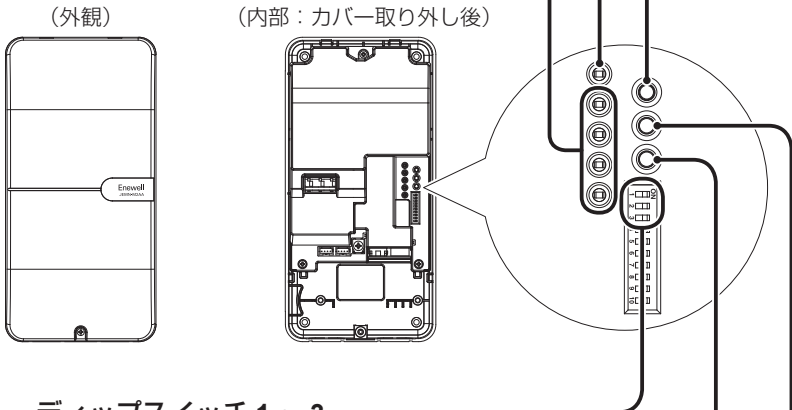
緑点灯：正常運転中

LED2 ~ 5

異常発生時に点灯します。

点灯の組み合わせにより警告の内容が異なります。

詳細は「施工説明書」をご覧ください。



ディップスイッチ 1 ~ 3

表示ユニットやルーターと接続するときに切り替えます。▶ P.39

- ディップスイッチ 4 ~ 10 は専門業者以外は使用しません。

初期化ボタン

計測ユニット内に保存しているデータや設定値を初期化します。

通常は使用しません。

リセットボタン

ディップスイッチ 1 ~ 3 を変更したときなど、

通信設定を変更するときに押します。

各部の名称と機能 (つづき)

SD カードの取り付け／取り外し

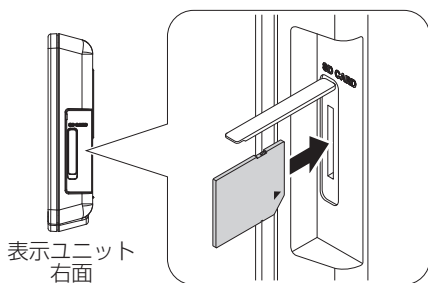
使用できる SD カード (別売) は、128 MB ～ 2 GB までの SD メモリーカード、4 GB ～ 32 GB までの SDHC メモリーカードです。(SDXC メモリーカードには対応していません。)

・ パナソニック(株)製の SD カードで動作確認を行っています。上記の SD カードであっても、すべてのメーカーや製品の動作を保証するものではありません。

ご使用になる前に

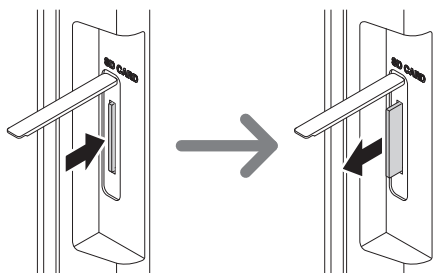
■ 取り付けかた

- 1 表示ユニット右面の SD カード差し込み口カバーを開ける
- 2 SD カードの向きを確認してカチッと音がするまでまっすぐ差し込む



■ 取り外しかた

- 1 SD カードをいったん奥まで押し込む
SD カードが少し出ます。
- 2 SD カードをまっすぐ抜き取る
- 3 SD カード差し込み口カバーをしっかりと閉じる
・ すき間がないことを確認してください。



注意

- SD カードは正しい向きで挿入してください。誤った向きで挿入すると SD カードや表示ユニットが破損するおそれがあります。
- SD カードを取り外した際に SD カードが温かい場合がありますが故障ではありません。
- SD カードにアクセスする際、SD カード内のフォルダ構成などを確認するため、表示や保存に時間がかかる場合があります。SD カードのメーカーや種類によってかかる時間は異なります。
- SD カードに保存したデータはお客様ご自身の責任において管理及び取扱いを行ってください。
- 表示ユニットや SD カードの故障、電気ノイズや静電気などにより、SD カードに保存したデータが破損または消失することがありますので、大切なデータはパソコンなどにも保存しておくことをおすすめします。保存したデータが破損または消失しても、当社は一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。

画面の見かたと操作

画面にはさまざまな情報が表示されます。
ボタンなどをタッチして操作を行います。

ご使用になる前に

ホーム画面 ▶ P.18
発電システムの現在の稼働状況を確認できます。

ステータスバー

ボタン
画面をタッチすると30秒間表示します。

ホーム画面

グラフ

機能

設定

2014.01.01(水)12:00 発電量 1.1kWh

発電 2.1 kW

消費 1.6 kW

売電 0.6 kW

発電 0.1 kW

ホームボタン

ボタンを非表示にします。
ほかの画面を表示しているときに
タッチするとホーム画面に戻ります。

グラフ画面 ▶ P.20

発電量・消費量・売電量・買電量を
グラフやリストで確認します。



機能メニュー画面 ▶ P.22

計測データに関するさまざまな機能を
利用します。

2014.01.01(水)12:00 発電量 1.1kWh

機能メニュー

- データダウンロード: 各電力量の計測データをSDカードやパソコンに保存できます。
- 発電状況拡大表示: 稼働電力量、CO₂換算・金銭換算・発電ランキングを閲覧することができます。
- 履歴: 異常検出と電圧上昇抑制履歴を閲覧することができます。
- 節約目標達成状況: 目標消費電力量と多月の消費電力量をグラフで表示します。
- 時間帯別電力量: 時間帯別の消費電力を閲覧することができます。
- 発電量比較グラフ: 過去の発電量と比較してグラフで表示します。

ホーム画面



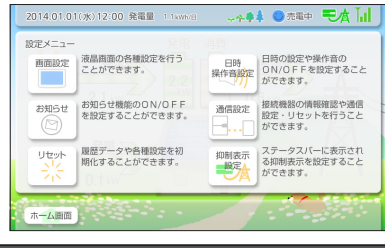
タッチ操作について

画面はタッチパネルになっています。指で直接画面に触れて操作します。

- 爪やぬれた指で触れると操作できない場合があります。
- 強く押したり、先のとがった物で押さないでください。

設定メニュー画面 ▶P.32

表示システムに関する各種設定を行います。



ステータスバーについて

本日の積算発電量 (kWh / 日)

本日の太陽光による発電量を表示します。

- 毎日0時にリセットされます。

日時

現在の日時を表示します。

- 日時の設定については ▶P.37 をご覧ください。

通信状態

表示ユニットと計測ユニット間の通信状態を表示します。

- : 強 (推奨)
- : 中
- : 弱
- : 非常に弱い
- : 圏外
- : 有線通信
- : 有線通信異常

- 通信状態が弱い場合は表示が乱れることがあります。



自給率

消費電力に対する発電電力の割合を表示します。

- : 25%
- : 50%
- : 75%
- : 100%

- 100% 以上のときは を表示します。

運転状態

パワーコンディショナの運転状態を表示します。

- (緑色) : 系統に接続して運転中
- (グレー) : 系統から分離して自立運転中
- (黄色) : 電圧上昇抑制中
- (緑色) : 温度上昇抑制中

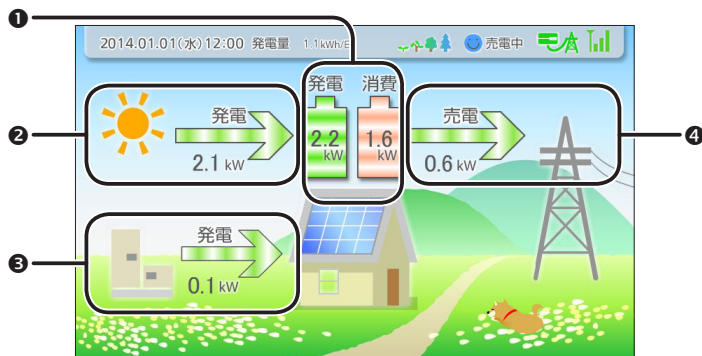
- 電圧上昇抑制機能と温度上昇抑制機能については ▶P.46 をご覧ください。

ホーム画面で稼働状況を確認する

ホーム画面は発電システムの現在の稼働状態を表示します。
ホーム画面には「電力フローモード」と「壁紙モード」の2種類があります。

- モードの切り替えについては ▶P.32 をご覧ください。

電力フローモードで確認する



電力データを
確認する

① 発電／消費

発電システム全体での現在の発電電力と消費電力を表示します。

② 発電

太陽光発電による現在の発電電力を表示します。

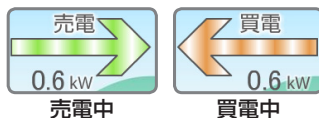
③ 発電

外部発電機器による現在の発電電力を表示します。

- 外部発電機器を接続している場合のみ表示します。

④ 売電／買電

現在の売電電力または買電電力を表示します。
発電電力が消費電力より多いときは売電、発電電力が消費電力より少ないときは買電します。



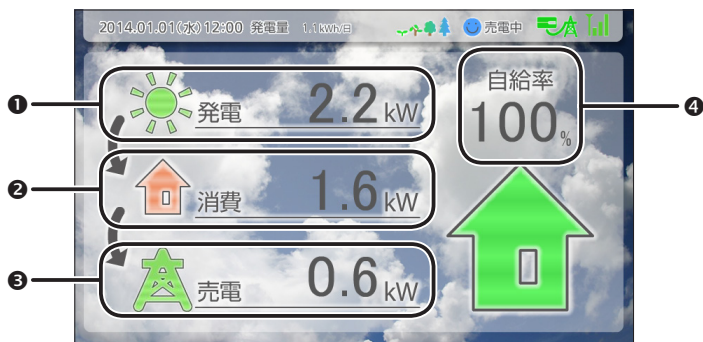
背景について

時間帯によって背景が朝・昼・夕・夜と変化します。

壁紙モードで確認する

壁紙モードでは背景をお好きな画像に変更できます。

- 画像の変更については ▶P.32 をご覧ください。



① 発電

発電システム全体での現在の発電電力を表示します。

② 消費

現在の消費電力を表示します。

③ 売電／買電

現在の売電電力または買電電力を表示します。
発電電力が消費電力より多いときは売電、発電電力が消費電力より少ないときは買電します。



④ 自給率

現在の自給率を表示します。100% 以上のときは [100%] と表示します。



自給率とは？

消費に対する発電の割合です。

$$\text{自給率 (\%)} = \text{発電電力 (量)} \div \text{消費電力 (量)} \times 100$$

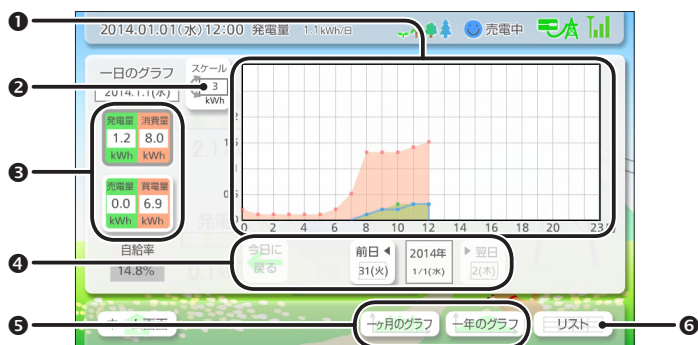
自給率が 100% 以上のときは売電中となります。

グラフやリストで経過を確認する

グラフで確認する

発電量、消費量、売電量、買電量の計測データをグラフで表示します。
• 縦軸スケールを変更した場合、次回グラフ画面を表示したときも変更した内容で表示します。

1 ホーム画面で **グラフ** をタッチ



電力データを
確認する

1 グラフ

発電量、消費量、売電量、買電量を日間/月間/年間で表示します。

緑色：発電量（外部発電も含む）または売電量

青色（折れ線グラフ）：太陽光発電のみの発電量

赤色：消費量または買電量

2 縦軸スケール

表示しているグラフの縦軸スケールを変更します。

• 選択できるスケールは表示しているグラフの日間/月間/年間で異なります。

3 表示データ切り替え

グラフに表示するデータを切り替えます。

【発電量/消費量】：発電量と消費量

【売電量/買電量】：売電量と買電量

• 数値はグラフに表示している積算量です。

4 表示日付切り替え

表示するグラフの日付を前日または翌日に切り替えます。

月間表示の場合は前月または翌月、年間表示の場合は前年または翌年に切り替えます。

【今日に戻る】をタッチすると、今日/今月/今年のグラフ表示に戻ります。

5 日間/月間/年間表示切り替え

グラフの表示を日間/月間/年間に切り替えます。

6 リスト画面切り替え

リスト画面に切り替えます。

リストで確認する

太陽光発電量、外部発電量、売電量、買電量、発電量合計、消費電力量の計測データをリストで表示します。

1 グラフ画面で [リスト] をタッチ



1 リスト

太陽光発電量、外部発電量、売電量、買電量、発電量合計、消費電力量を日間／月間／年間で表示します。

スクロールボタンをタッチするとリストが上下にスクロールします。ロングタッチ(長押し)すると高速でスクロールします。

2 表示データ切り替え

リストに表示するデータを切り替えます。

【発電量／消費量】：太陽光発電量、外部発電量、発電量合計、消費電力量

【売電量／買電量】：売電量、買電量、発電量合計、消費電力量

・数値はリストに表示している積算量です。

3 表示日付切り替え

表示するリストの日付を前日または翌日に切り替えます。

月間表示の場合は前月または翌月、年間表示の場合は前年または翌年に切り替えます。

[今日に戻る]をタッチすると、今日／今月／今年のリスト表示に戻ります。

4 日間／月間／年間表示切り替え

リストの表示を日間／月間／年間に切り替えます。

5 グラフ画面切り替え

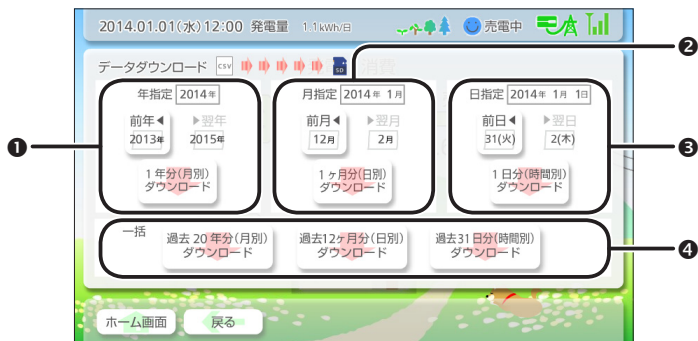
グラフ画面に切り替えます。

計測データを SD カードに保存する

計測データを CSV 形式のファイルで SD カード（別売）に保存します。

- ・ パソコンに保存するにはパソコンから操作を行います。▶P.31

- 1 ホーム画面で **機能** をタッチ
- 2 機能メニュー画面で **データダウンロード** をタッチ



便利な機能を利用する

- 1 年単位で保存
指定した年の計測データを保存します。
- 2 月単位で保存
指定した月の計測データを保存します。
- 3 日単位で保存
指定した日の計測データを保存します。
- 4 一括で保存
【過去 20 年分(月別)ダウンロード】：過去 20 年分の計測データを保存します。
【過去 12 ヶ月分(日別)ダウンロード】：過去 12 か月分の計測データを保存します。
【過去 31 日分(時間別)ダウンロード】：過去 31 日分の計測データを保存します。



保存データについて

SD カード直下に「sekisan_XXXX-XXXX.csv」のファイル名で保存されます。
(「XXXX-XXXX」は指定した期間です。YYYYMM, YYYYMMDD, YYYYMMDDHH と指定した期間により変わります。)
保存される計測データは下記のデータです。

- ・ 太陽光発電量
- ・ 外部発電量
- ・ 発電量合計
- ・ 消費電力量
- ・ 売電量
- ・ 買電量
- ・ 各パワーコンディショナ発電量

ランキングを表示する

過去の発電量や消費量のランキングなどを表示します。

- 1 ホーム画面で **機能** をタッチ
- 2 機能メニュー画面で **発電状況
見える化** をタッチ



① ランキング

現在までに発電量及び消費量が多かった日の上位3日をランキング形式で表示します。ランキングに変動があった場合は [New] を3日間表示します。

[リセット] をタッチするとこれまでのランキングを消去し、新たにランキングを開始します。

- ・ランキングは毎日0時に更新されます。
- ・同じ電力量の場合は新しい日付を上位として表示します。

② CO₂削減量

現在までに太陽光で発電した電力量を元に、どれだけのCO₂削減ができたかを表示します。また、杉の木に換算すると何本分になるか表示します。

- ・杉の木は以下の方式で換算されています。

$$\text{杉の木 (本)} = \text{CO}_2 \text{削減量 (kg-CO}_2) \div 14 \text{ (kg / 本)}$$

③ 金額換算

現在までに太陽光で発電した電力量の合計と、その電力をすべて売電した場合の金額を表示します。

※表示される金額は総発電量からの概算であり、実際の売電額とは異なります。目安として利用してください。

④ 金額換算 CO₂換算の設定

金額及びCO₂の換算値を設定します。

金額換算値は0円/kWh～50円/kWhまで設定できます。(出荷時設定：38円/kWh)
CO₂換算値は0g-CO₂/kWh～1,000g-CO₂/kWhまで設定できます。(出荷時設定：504.5g-CO₂/kWh)

- ・出荷時設定は太陽光発電協会 (JPEA) 発行の「表示に関する業界自主ルール (平成24年度)」に基づいて設定しています。

異常や抑制の履歴を確認する

太陽光発電システムに異常や電圧上昇抑制が発生した場合は履歴が記録されます。

異常履歴を確認する

- 1 ホーム画面で **機能** をタッチ
- 2 機能メニュー画面で **履歴** をタッチ



① 異常履歴

発生日時，機器番号，エラーコードを表示します。

スクロールボタンをタッチするとリストが上下にスクロールします。ロングタッチ(長押し)すると高速でスクロールします。

- 異常履歴は 60 件まで記録されます。60 件を超えると古い履歴から消去されます。
- 異常の詳細については ▶P.47 をご覧ください。

② 履歴リセット

異常履歴をすべて消去します。

③ 電圧上昇抑制履歴

電圧上昇抑制履歴画面に切り替えます。

電圧上昇抑制履歴を確認する

1 異常履歴画面で「電圧上昇抑制履歴」をタッチ



① 電圧上昇抑制履歴

太陽光で発電した発電量、太陽光発電システムが稼働した時間、電圧上昇抑制機能が働いた時間を日にちごとに表示します。スクロールボタンをタッチするとリストが上下にスクロールします。ロングタッチ(長押し)すると高速でスクロールします。

- 電圧上昇抑制機能が働いたかどうかにかかわらず、履歴は毎日記録されます。
- 電圧上昇抑制履歴で表示される情報は機器 1 に関する履歴です。
- 電圧上昇抑制履歴は 32 日分まで記録されます。32 日分を超えると古い履歴から消去されます。
- 電圧上昇抑制機能については ▶P.46 をご覧ください。

② 履歴リセット

電圧上昇抑制履歴をすべて消去します。

③ 異常履歴

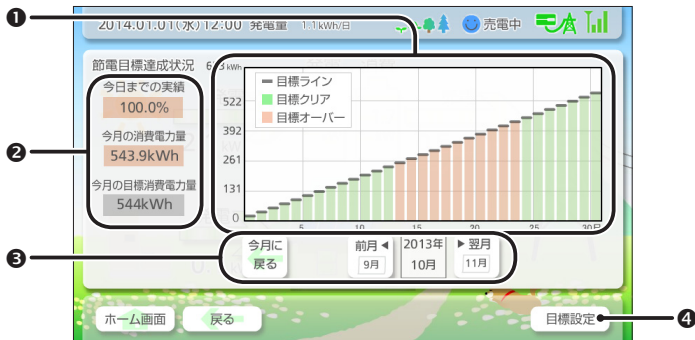
異常履歴画面に切り替えます。

節電目標の達成状況を確認する

1 か月単位での節電目標を設定して、節電目標に対してどれだけ消費電力量を抑えることができたかをグラフで表示します。

達成状況を確認する

- 1 ホーム画面で **機能** をタッチ
- 2 機能メニュー画面で **節電目標達成状況** をタッチ



① グラフ

節電目標に対してクリアしたかオーバーしたかをグラフで表示します。

- 黒色：目標ライン
- 緑色：目標クリア
- 赤色：目標オーバー

② 目標達成状況

節電目標に対しての実績を表示します。目標をクリアしていると緑色、オーバーしていると赤色になります。

- 【今日までの実績】：目標を 100% とした場合の今日までの消費電力量の割合
- 【今月の消費電力量】：今月の積算消費電力量
- 【今月の目標消費電力量】：節電目標として設定している消費電力量

③ 表示日付切り替え

表示するグラフの日付を前月または翌月に切り替えます。

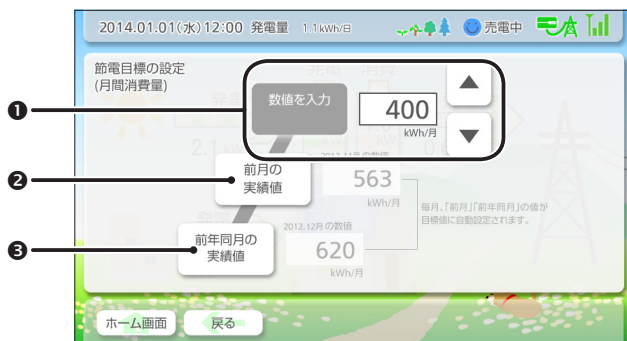
【今月に戻る】をタッチすると、今月のグラフ表示に戻ります。

④ 目標設定

節電目標設定画面に切り替わります。

節電目標を設定する

1 節電目標達成状況画面で **目標設定** をタッチ



① 数値を入力

節電目標を任意の数値で設定します。

スクロールボタンをタッチして数値を設定します。ロングタッチ（長押し）すると高速でスクロールします。

② 前月の実績値

前月の消費量を節電目標として設定します。

- 前月の消費量が存在しない場合は 0 kWh / 月に設定されます。

③ 前年同月の実績値

前年同月の消費量を節電目標として設定します。

- 前年同月の消費量が存在しない場合は 0 kWh / 月に設定されます。

時間帯別の消費電力量を確認する

1日を4つの時間帯に分けて、月ごとの時間帯別消費電力量を表示します。

- 1 ホーム画面で **機能** をタッチ
- 2 機能メニュー画面で **時間帯別電力量** をタッチ



便利な機能を利用する

- 1 表示日付切り替え**
表示する日付を前月/翌月または前年/翌年に切り替えます。
[今月に戻る] をタッチすると、今月の表示に戻ります。
- 2 時間帯別消費電力量**
時間帯別の消費電力量を表示します。
それぞれの色は右のグラフと対応しています。
- 3 グラフ**
表示している月を基準に、前後5か月分の時間帯別消費電力量をグラフで表示します。
 - 計測データが無い月は白色で表示されます。
- 4 時間帯の設定**
4つの時間帯を設定します。

過去の発電量と比較する

2つの年を指定して月ごとの発電量をグラフで比較できます。

- 1 ホーム画面で **機能** をタッチ
- 2 機能メニュー画面で **発電量比較グラフ** をタッチ



① 比較グラフ

比較元と比較先の月ごとの発電量を重ねて表示します。

緑色：比較元
黄色：比較先

② 縦軸スケール

表示しているグラフの縦軸スケールを変更します。

- ・次回グラフ画面を表示したときも変更したスケールで表示します。

③ 発電量

比較元と比較先の年間総発電量と自給率を表示します。

④ 表示日付切り替え

比較元または比較先の年を前年／翌年に切り替えます。

パソコンで確認する

表示ユニットと同じ画面をパソコンに表示し、表示ユニットと同等の操作をパソコンで行うことができます。

- 壁紙モードのホーム画面や設定メニュー画面など、パソコンでは一部表示できない画面や操作できない機能があります。
- パソコンで確認するには、Flash Player のインストールが必要です。

パソコンを利用するには、ルーターを使用して表示ユニットや計測ユニットと接続する必要があります。

下記の無線 LAN ルーターは動作確認済みです。

株式会社バッファロー：WHR-300HP2
日本電気株式会社：PA-WF300HP

上記以外の製品をご使用になる場合は、ルーターの取扱説明書またはホームページなどで以下の点をご確認ください。(以下の点を満たしていない製品では接続できません。)

- 無線接続設定ボタンが備わっていること。
(メーカーや製品によりボタンの名称や位置は異なります。)
- IEEE802.11b/g (2.4 GHz) に対応していること。

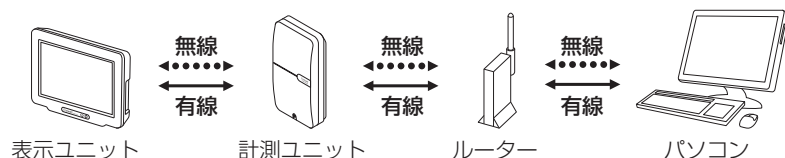
パソコンを接続する

以下のどちらかの方法で接続します。

- 接続方法の詳細については「計測ユニットとの通信設定を行う」▶P.38 の接続方法 ③～⑥をご覧ください。

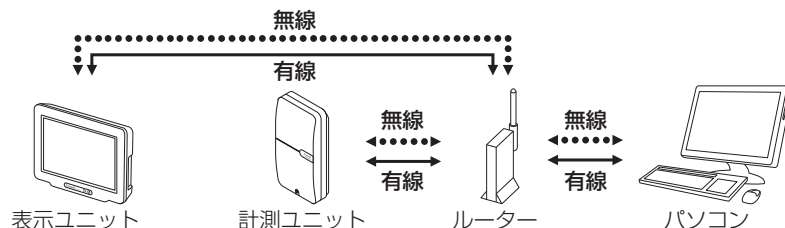
■ パターン 1

表示ユニットと計測ユニットを接続し、計測ユニットとルーターを接続するパターン。



■ パターン 2 (推奨)

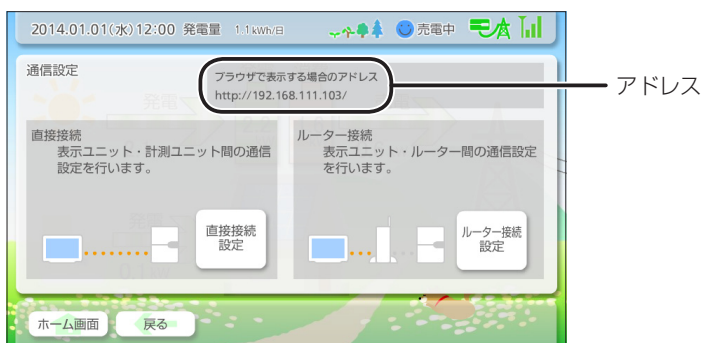
ルーター経由で表示ユニットと計測ユニットを接続するパターン。



パソコンに表示する

アドレスを確認し、パソコンのブラウザにアドレスを入力して表示します。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **通信設定** をタッチ
表示されたアドレスを確認します。



- 3 パソコンのブラウザを起動し、手順 2 で確認したアドレスをアドレスバーに入力する
以降、表示ユニットと同等の操作をパソコンで行えます。

計測データをパソコンに保存する

計測データを CSV 形式のファイルでパソコンに保存します。

- SD カードに保存するには表示ユニットから操作を行います。▶ P.22

- 1 ホーム画面で **機能** をクリック
- 2 機能メニュー画面で **データダウンロード** をクリック
- 3 保存したいデータを指定してボタンをクリック
詳細については ▶ P.22 をご覧ください。

画面に関する設定を行う

ホーム画面のモードを設定する

ホーム画面のモードを「電力フローモード」または「壁紙モード」に設定します。また、「壁紙モード」の画像も設定します。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **画面設定** をタッチ



① 画面モード

ホーム画面に表示するモードを選択します。

② 壁紙選択

壁紙モードで表示する画像を設定します。

表示ユニットに搭載されている画像と SD カード（別売）に保存されている画像※から選択できます。

※選択できる画像は下記のとおりです。

ファイル形式：JPEG

画像サイズ：2,000 × 2,000 ピクセル以下

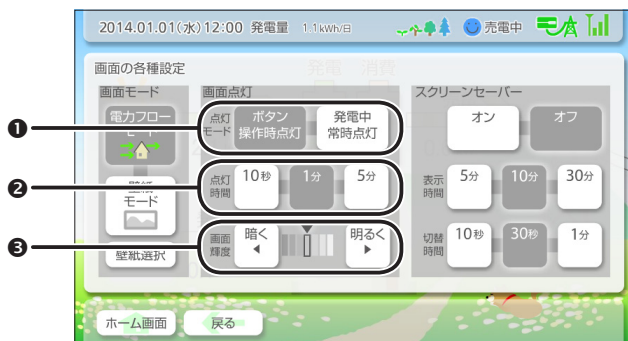
上記以外の画像が SD カードに保存されていても表示されません。

SD カード内に 100 件以上の画像がある場合は、名前の順番で 100 件まで表示されます。

画面の点灯について設定する

画面の点灯モード，点灯時間，輝度を設定します。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **画面設定** をタッチ



① 点灯モード

画面が点灯する条件を選択します。

【ボタン操作時点灯】：画面を操作しているときに点灯します。

【発電中常時点灯】：太陽光による発電が行われている間，常に点灯します。

② 点灯時間

画面が点灯する時間を選択します。

点灯モードが「ボタン操作時点灯」の場合は，操作が終了した後に設定した時間点灯します。

- 「発電中常時点灯」の場合は，設定した時間にかかわらず発電中は常に点灯しますが，操作中や設定した時間以外では低輝度で点灯します。

③ 画面輝度

画面の明るさを設定します。

画面に関する設定を行う（つづき）

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーを設定します。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **画面設定** をタッチ



① オン／オフ

スクリーンセーバーのオン／オフを設定します。

オンに設定した場合、画面の点灯時間が経過するとスクリーンセーバーが起動します。

② 表示時間

スクリーンセーバーの動作時間を選択します。

設定した時間が経過するとスクリーンセーバーが終了し、画面が消灯します。

- 画面の点灯モードが「発電中常時点灯」の場合は、設定した時間にかかわらず発電中は常にスクリーンセーバーが動作しますが、設定した時間以外では低輝度で動作します。

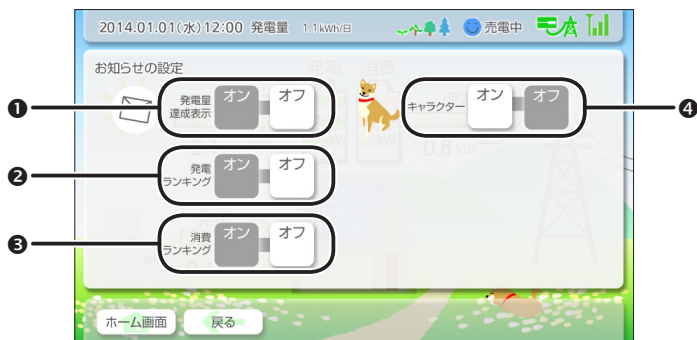
③ 画像切替時間

表示される画像が切り替わる時間を選択します。

お知らせ機能の設定を行う

お知らせやキャラクターを表示するかどうか設定します。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **お知らせ** をタッチ



① 発電量達成表示

積算発電量が 10,000 kWh に到達したときにお知らせします。
2 回目以降は 20,000 kWh, 30,000 kWh と 10,000 kWh ごとにお知らせします。

② 発電ランキング

発電ランキングに変動があったときにお知らせします。

③ 消費ランキング

消費ランキングに変動があったときにお知らせします。

④ キャラクター

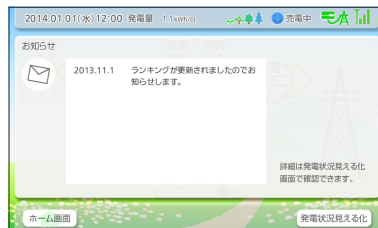
ホーム画面（電力フローモード）にキャラクターを表示します。キャラクターをタッチするとキャラクターが動きます。

- キャラクターの種類は時間帯によって変わります。
- ホーム画面を壁紙モードに設定している場合はキャラクターは表示されません。



お知らせが通知されると

ホーム画面に  が表示されます。
タッチすると内容を確認できます。

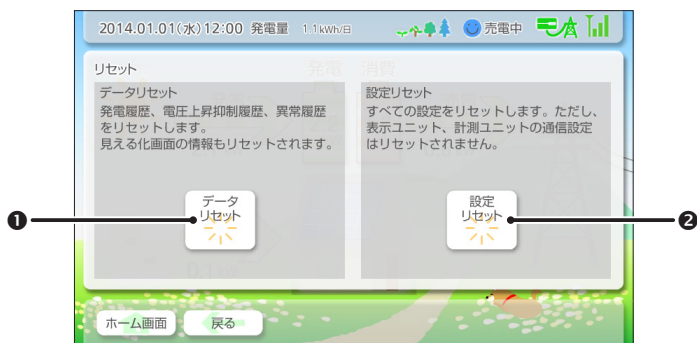


履歴や各種設定をリセットする

異常履歴や電圧上昇抑制履歴などのデータをすべて消去したり、各種設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※リセットを行うと元に戻すことはできませんのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **リセット** をタッチ



① データリセット

計測データ、異常履歴、電圧上昇抑制履歴など、発電システムに関するすべてのデータを消去します。グラフ、発電状況見える化、時間帯別電力量などで表示される情報もすべて消去します。

- 異常履歴や電圧上昇抑制履歴のみ消去したい場合は ▶P.24 をご覧ください。
- ランキングのみ消去したい場合は ▶P.23 をご覧ください。

② 設定リセット

日時設定と通信設定を除くすべての設定をお買い上げ時の状態（出荷時設定）に戻します。

■ 出荷時設定一覧

設定項目	出荷時設定
金額・CO ₂ 換算設定	
金額換算	38 円 / kWh
CO ₂ 換算	504.5 g-CO ₂ /kWh
目標設定	
節電目標	400 kWh / 月
時間帯設定	
時間帯 1	9
時間帯 2	13
時間帯 3	17
時間帯 4	22

設定項目	出荷時設定
画面設定	
画面モード	電力フローモード
画面点灯	
点灯モード	ボタン操作時点灯
点灯時間	1分
画面輝度	4 (8段階中)
スクリーンセーバー	
表示	オフ
表示時間	-
切替時間	-

設定項目	出荷時設定
お知らせ設定	
発電量達成表示	オン
発電ランキング	オン
消費ランキング	オン
キャラクター	オフ
抑制表示設定	
電圧上昇抑制	オン
温度上昇抑制	オフ

日時と操作音の設定を行う

日時と操作音を設定します。

※日時は発電量データや消費量データに大きく関係しますので、正しく設定してください。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **日時
操作音設定** をタッチ



① 日時

左右のボタンをタッチして年月日及び時間を設定し、[日時セット]をタッチします。
※[日時セット]をタッチせずにホーム画面などに戻った場合は設定が反映されませんのでご注意ください。

※[日時変更の注意]をタッチすると日時変更に関する注意事項が表示されます。日時変更によって、履歴データの一部分が消去される場合がありますのでご注意ください。

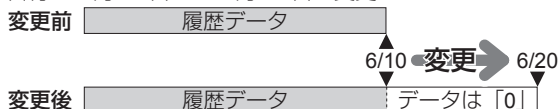
- 過去に日時を変更：設定日時より未来の全データが消去されます。

(例) 日付を6月10日から6月5日に変更



- 未来に日時を変更：履歴データが存在しない日時にはすべて「0」が保存されます。

(例) 日付を6月10日から6月20日に変更



② 操作音

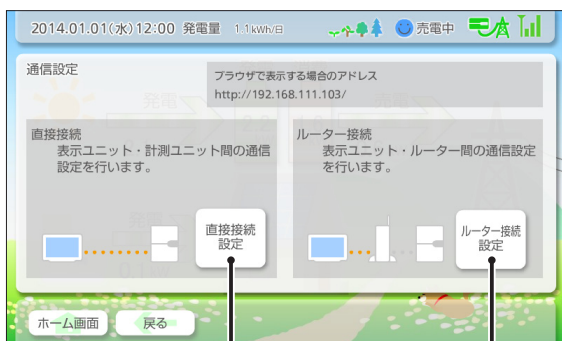
ボタンなどをタッチしたときに音を鳴らします。

計測ユニットとの通信設定を行う

表示ユニットと計測ユニットを接続するための通信設定を行います。接続する方法は、表示ユニットと計測ユニットを直接接続する方法と、ルーターを使用して接続する方法があり、それぞれ無線または有線で接続できます。

- 接続方法によって計測ユニットのディップスイッチの設定が異なります。詳細は ▶P.39 をご覧ください。
- 操作後、正常に接続が完了したか確認してください。▶P.45
- 動作確認済みの無線 LAN ルーターについては ▶P.30 をご覧ください。
- 有線接続を行う場合、「施工説明書」の指示に従って通信ケーブルの配線を行ってください。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **通信設定** をタッチ





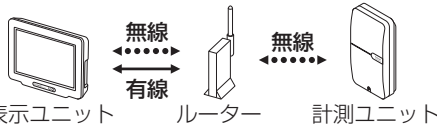
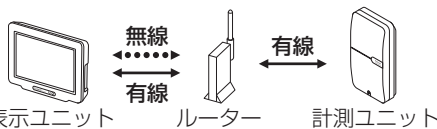


直接接続設定画面



ルーター接続設定画面



接続方法		計測ユニットの ディップスイッチ1~3	ページ
直接接続	接続方法 ①  表示ユニット ←無線→ 計測ユニット	OFF <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/>	▶ P.40
	接続方法 ②  表示ユニット ←有線→ 計測ユニット	OFF <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON	▶ P.41
	接続方法 ③  表示ユニット ←無線→ 計測ユニット ←有線→ ルーター	<input type="checkbox"/> ON OFF <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/>	▶ P.41
	接続方法 ④  表示ユニット ←有線→ 計測ユニット ←無線→ ルーター	<input type="checkbox"/> ON OFF <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON	▶ P.42
ルーター接続	接続方法 ⑤  表示ユニット ←無線→ ルーター ←無線→ 計測ユニット	OFF <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON OFF <input type="checkbox"/>	▶ P.43
	接続方法 ⑥  表示ユニット ←無線→ ルーター ←有線→ 計測ユニット	OFF <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> ON	▶ P.44

各種設定を行う

計測ユニットとの通信設定を行う（つづき）

接続方法 ①

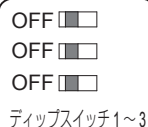
表示ユニットと計測ユニットを無線で接続します。

- 表示ユニットと計測ユニットが通信ケーブルで接続されていないことを確認してから操作してください。



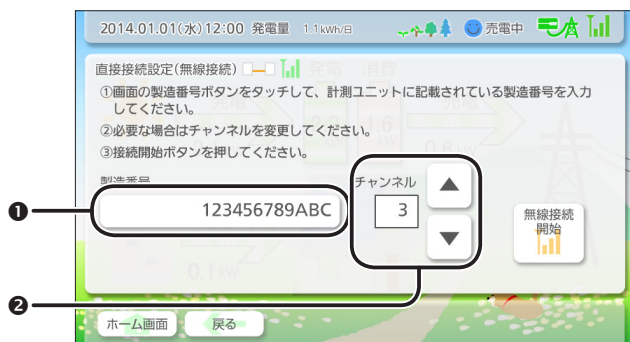
1 計測ユニットのディップスイッチを設定する

- ディップスイッチを変更した後はリセットボタンを押してください。LED1が緑色に点灯するまでしばらくお待ちください。LEDが点灯するまでには1分程かかります。



2 表示ユニットの直接接続設定画面で **無線接続設定** をタッチ

3 計測ユニットの情報を設定する



① 製造番号

計測ユニット側面のラベルに記載されている製造番号を入力します。

② チャンネル番号

正常に通信できない場合はほかの無線機器と同じチャンネルを使用している可能性があります。その場合はスクロールボタンをタッチしてチャンネルを変更してください。

4 **無線接続開始** をタッチ



チャンネルとは

複数の機器が同時に無線通信を行えるように、通信に利用する周波数帯域を分割したものです。電波の届く範囲内にあるほかの機器と異なるチャンネルに設定することで、通信の混線を防ぐことができます。

接続方法 ②

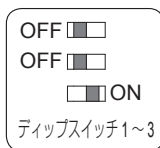
表示ユニットと計測ユニットを有線で接続します。

- 表示ユニットと計測ユニットが通信ケーブルで接続されていることを確認してから操作してください。



1 計測ユニットのディップスイッチを設定する

- ディップスイッチを変更した後はリセットボタンを押してください。LED1が緑色に点灯するまでしばらくお待ちください。LEDが点灯するまでには1分程かかります。



2 直接接続設定画面で をタッチ

接続方法 ③

表示ユニットと計測ユニットを無線、計測ユニットとルーターを有線で接続します

- 表示ユニットと計測ユニットが通信ケーブルで接続されていないことを確認してから操作してください。
- 計測ユニットとルーターが通信ケーブルで接続されていることを確認してから操作してください。
- ルーター側の接続及び操作については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。



1 計測ユニットのディップスイッチを設定する

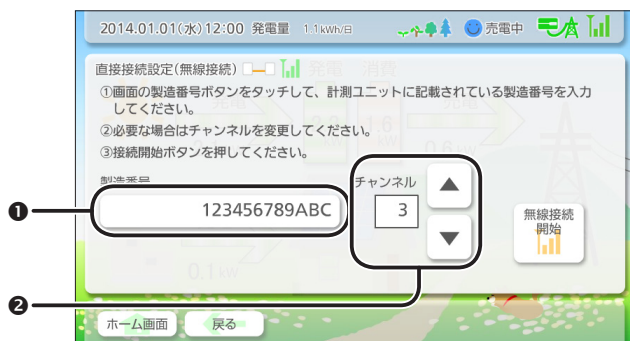
- ディップスイッチを変更した後はリセットボタンを押してください。LED1が緑色に点灯するまでしばらくお待ちください。LEDが点灯するまでには1分程かかります。



2 表示ユニットの直接接続設定画面で をタッチ

計測ユニットとの通信設定を行う（つづき）

3 計測ユニットの情報を設定する



① 製造番号

計測ユニット側面のラベルに記載されている製造番号を入力します。

② チャンネル番号

正常に通信できない場合はほかの無線機器と同じチャンネルを使用している可能性があります。その場合はスクロールボタンをタッチしてチャンネルを変更してください。

4 をタッチ

接続方法 ④

表示ユニットと計測ユニットを有線、計測ユニットとルーターを無線で接続します。

- 表示ユニットと計測ユニットが通信ケーブルで接続されていることを確認してから操作してください。
- ルーター側の接続及び操作については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。



1 計測ユニットのディップスイッチを設定する

- ディップスイッチを変更した後はリセットボタンを押してください。LED1 が緑色に点灯するまでしばらくお待ちください。LED が点灯するまでには 1 分程かかります。

2 計測ユニットの無線設定ボタンを 3 秒以上押す

計測ユニットの LED1 が緑色に点滅します。



3 ルーターの無線設定ボタンを長押しする

正常に接続されると計測ユニットのLED1がオレンジ色に点灯します。

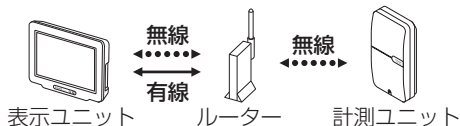
- 計測ユニットの無線設定ボタンを押した後は間隔を空けずにルーターの無線設定ボタンを押してください。間隔が空くと接続に失敗する可能性があります。

4 表示ユニットの直接接続設定画面で をタッチ

接続方法 ⑤

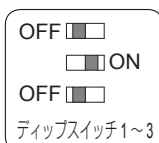
表示ユニットとルーターを無線または有線、ルーターと計測ユニットを無線で接続します。

- ルーター側の接続及び操作については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。



1 計測ユニットのディップスイッチを設定する

- ディップスイッチを変更した後はリセットボタンを押してください。LED1が緑色に点灯するまでしばらくお待ちください。LEDが点灯するまでには1分程かかります。



2 計測ユニットの無線設定ボタンを3秒以上押す

計測ユニットのLED1が緑色に点滅します。

3 ルーターの無線設定ボタンを長押しする

正常に接続されると計測ユニットのLED1がオレンジ色に点灯します。

- 計測ユニットの無線設定ボタンを押した後は間隔を空けずにルーターの無線設定ボタンを押してください。間隔が空くと接続に失敗する可能性があります。

■ 表示ユニットとルーターを無線で接続する場合

4 表示ユニットのルーター接続設定画面で をタッチ

5 ルーターの無線設定ボタンを長押しし、表示ユニットの をタッチ

- ルーターの無線設定ボタンを押した後は間隔を空けずに[接続開始]をタッチしてください。間隔が空くと接続に失敗する可能性があります。

計測ユニットとの通信設定を行う（つづき）

■ 表示ユニットとルーターを有線で接続する場合

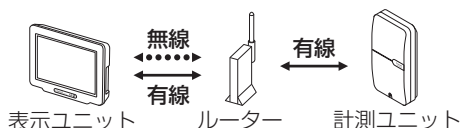
- 4 表示ユニットとルーターを通信ケーブルで接続する
・表示ユニットの「COM2」に通信ケーブルを差し込んでください。

- 5 表示ユニットのルーター接続設定画面で  をタッチ

接続方法 ⑥

表示ユニットとルーターを無線または有線、ルーターと計測ユニットを有線で接続します。

- 計測ユニットとルーターが通信ケーブルで接続されていることを確認してから操作してください。
- ルーター側の接続及び操作については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。




1 計測ユニットのディップスイッチを設定する

- ディップスイッチを変更した後はリセットボタンを押してください。LED1 が緑色に点灯するまでしばらくお待ちください。LED が点灯するまでには 1 分程かかります。



■ 表示ユニットとルーターを無線で接続する場合

- 2 表示ユニットのルーター接続設定画面で  をタッチ

- 3 ルーターの無線設定ボタンを長押しし、表示ユニットの  をタッチ

- ルーターの無線設定ボタンを押した後は間隔を空けずに [接続開始] をタッチしてください。間隔が空くと接続に失敗する可能性があります。

■ 表示ユニットとルーターを有線で接続する場合

- 2 表示ユニットとルーターを通信ケーブルで接続する
・表示ユニットの「COM2」に通信ケーブルを差し込んでください。

- 3 表示ユニットのルーター接続設定画面で  をタッチ

接続を確認する

接続操作を行うと処理中画面が表示され、接続が完了すると接続成功の画面が表示されます。

- 接続処理には時間がかかる場合があります。

■ 無線接続時

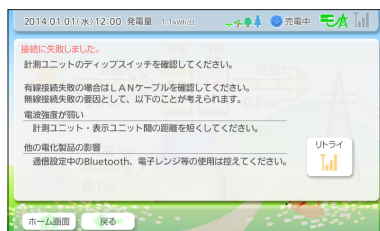


■ 有線接続時



接続に失敗すると

右のような画面が表示されます。
接続失敗の要因を確認して、もう一度
接続操作を行ってください。



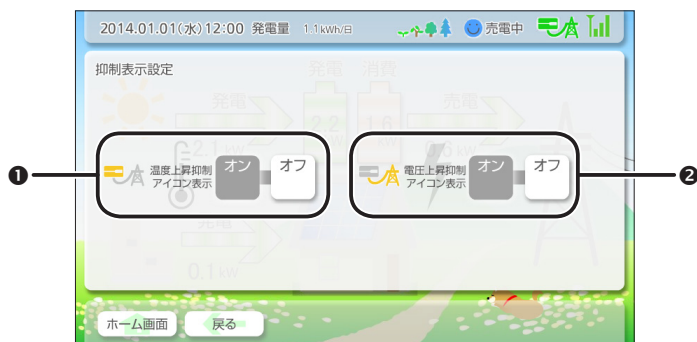
計測ユニットのLED1で確認するには

緑点滅：無線接続設定中
オレンジ点灯：ルーターと無線接続完了
緑点灯：正常運転中

抑制表示の設定を行う

ステータスバーに温度上昇抑制中のアイコンや電圧上昇抑制中のアイコンを表示するかどうか設定します。

- 1 ホーム画面で **設定** をタッチ
- 2 設定メニュー画面で **抑制表示設定** をタッチ



- 1 **温度上昇抑制アイコン表示**
ステータスバーに温度上昇抑制アイコンを表示します。
- 2 **電圧上昇抑制アイコン表示**
ステータスバーに電圧上昇抑制アイコンを表示します。



電圧上昇抑制機能とは？

パワーコンディショナ運転中に配電系統からの電圧が高くなった場合、パワーコンディショナの出力を抑える機能です。

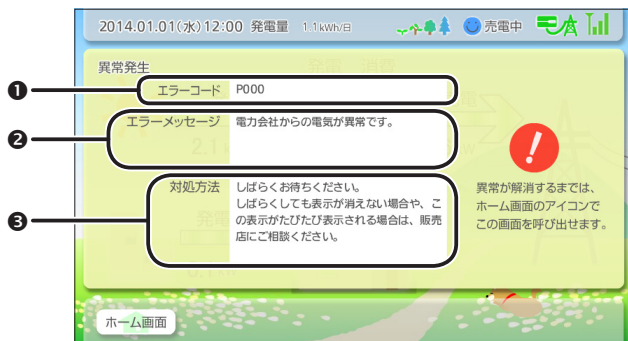
温度上昇抑制機能とは？

パワーコンディショナ運転中に内部の温度が高くなった場合、パワーコンディショナの出力を抑える機能です。

※本機能はパワーコンディショナが保有する機能であり、表示ユニットの機能ではありません。

故障かな？と思ったら

表示ユニット、計測ユニット、パワーコンディショナに深刻な異常が発生すると、表示ユニットの電源ランプが点滅し、異常発生画面が表示されます。



❶ エラーコード

異常を示すエラーコードです。「エラーコード一覧」▶P.48と照らし合わせて異常の詳細を確認してください。

❷ エラーメッセージ


異常の内容を簡潔に説明しています。

❸ 対処方法

異常を解消するための対処方法です。説明の指示に従って対処を行ってください。



異常を解消しないと

異常が解消されるまでホーム画面に  が表示されます。
タッチすると異常発生画面を表示します。

軽度の異常について

異常発生画面が表示されるのは対処が必要な深刻な異常が発生した場合のみです。軽度の異常は自動で復帰する仕組みとなっています。

- 軽度の異常については ▶P.24 の異常履歴でご確認ください。

故障かな?と思ったら(つづき)

エラーコード一覧

■ 表示ユニットの異常

エラーコード	エラーメッセージ	異常内容	対処方法
D000	メモリの異常です。	メモリ異常	電源を入れなおしてください。この表示がたびたび表示される場合は、販売店にご相談ください。
D001	無線モジュールが異常です。	無線モジュール異常	

■ 計測ユニットの異常

エラーコード	エラーメッセージ	異常内容	対処方法
M000	EEPROMの異常です。	EEPROM異常	販売店にご相談ください。
M001	周波数が異常です。	周波数異常	
M002	系統電圧が異常です。	入力電圧異常	
M003	系統電流が異常です。	入力電流異常	
M004	無線モジュールが異常です。	無線モジュール異常	
M005	時刻が正しくありません。	RTC異常	

■ パワーコンディショナの異常

エラーコード	エラーメッセージ	異常内容	対処方法
P000	電力会社からの電気が異常です。	系統過電圧検出	しばらくお待ちください。しばらくしても表示が消えない場合や、この表示がたびたび表示される場合は、販売店にご相談ください。
P001		系統不足電圧検出	
P002		系統周波数上昇検出	
P003		系統周波数低下検出	
P004		単独運転検出(受動的な方式)	
P005		単独運転検出(能動的な方式)	
P006		系統瞬時過電圧検出	
P007	系統瞬時電圧低下検出	しばらくお待ちください。しばらくしても表示が消えない場合や、この表示がたびたび表示される場合は、販売店にご相談ください。	
P008	太陽電池の出力電圧が高くなっています。		直流過電圧検出
P011	パワーコンディショナを再起動しています。		直流過電流検出
P012			交流過電流検出
P013			直流分検出

エラーコード	エラーメッセージ	異常内容	対処方法
P014	パワーコンディショナの内部温度が高くなっています。	内部温度異常	パワーコンディショナの通風口をご確認ください。ホコリ等で塞がっていませんか？異常がない場合は、販売店にご相談ください。
P020	パワーコンディショナの異常です。	制御電流異常	販売店にご相談ください。
P022		EEPROM 異常	
P024	パワーコンディショナの異常です。	連系リレー動作異常	
P032	自立コンセントの使用電力が出力可能電力を超えています。	自立運転過負荷状態	自立コンセントに接続してる機器を減らしてください。
P035	有線通信異常です。	通信異常	販売店にご相談ください。
P036	自立運転の配線に異常が発生しています。	自立接続異常	自立端子または、コンセントに接続している機器を確認してください。
P037	パワーコンディショナの故障です。	パワーコンディショナ故障	販売店にご相談ください。
P038	パワーコンディショナ入力または、出力の配線に異常が発生しています。	地絡検出	
P039 } P041	パワーコンディショナの故障です。	パワーコンディショナ故障	
P042 } P045	パワーコンディショナの異常です。	パワーコンディショナ異常検出	しばらくお待ちください。しばらくしても表示が消えない場合や、この表示がたびたび表示される場合は、販売店にご相談ください。
P046 } P069	パワーコンディショナの故障です。	パワーコンディショナ故障	販売店にご相談ください。
P070	パワーコンディショナ入力または、出力の配線に異常が発生しています。	端子温度異常	
P071 } P072	パワーコンディショナの故障です。	パワーコンディショナ故障	

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなときは

現象	対処方法
表示ユニットから異臭・異音 がする	ACアダプタをコンセントから外し、その後に販売店に 連絡してください。
計測ユニットから異臭・異音 がする	太陽光ブレーカ及び接続箱内のすべてのブレーカをOFF にし、その後に販売店に連絡してください。
ACアダプタが熱を持つ	通常でも多少は熱を持ちます。 手で触れられないぐらい熱くなったときはACアダプタ をコンセントから外し、その後に販売店に連絡してくだ さい。
電源ランプが点滅している	表示しているエラーメッセージをご確認ください。 ▶P.47
通信エラーがしばしば起こる アンテナのバーが0~1本で ある	表示ユニットの向きを変えたり、計測ユニットに近付け てみてください。また近くに強い電波を出す機器があれば、 その機器から遠ざけてください。
画面が点灯しない	画面をタッチすると画面が点灯します。点灯する条件や 点灯時間は変更できます。▶P.33
電源ランプが点灯しない	ACアダプタが正しく接続されているか確認してくださ い。
画面が表示されない	
売電ランプが全く点灯しない	販売店にご相談ください。
操作していないのに画面が点 灯している	画面の点灯モードを[発電中常時点灯]にすると、太陽 光による発電が行われている間は常時画面が点灯しま す。 点灯モードは変更できます。▶P.33
画面に前回画面が薄く残って いる	薄く残っている画面は前回画面の残像です。故障ではあ りません。
1か月の積算消費電力量が、 電力会社から請求されている 値と異なる	本製品は特定計量器ではありません。 本製品が示す値は目安としてお使いください。
日付や時刻がずれる	日付・時刻の情報は計測ユニットに保存されています。 計測ユニットとの通信状態を確認してください。
画面をタッチしても反応しな い	2点以上の同時タッチには対応していません。指と爪が 同時に触れていないか、指1本であっても広い範囲を触 れていないか確認してください。操作しにくい場合は市 販のタッチパネル用ペン(先端の素材が柔らかいもの) をご利用ください。
タッチした位置がずれる	
画面をタッチしても音がしな い	日時・操作音設定で操作音を[オン]にすると、タッチ したときに音が鳴ります。▶P.37

製品仕様

品名	表示ユニット
形式	JEMN-D2AA
液晶	7インチ TFT カラー液晶
定格入力電圧	DC5 V
最大消費電力	7 W
使用温度範囲	0 ~ 40°C (氷結なきこと)
使用湿度範囲	25 ~ 85%RH (結露なきこと)
寸法	W193.5 × H137.6 × D31 mm (突起物は除く)
質量	0.53 kg

品名	計測ユニット
形式	JEMN-M2AA
表示可能データ	日間データ：時間ごとのデータを 32 日分
	月間データ：日ごとのデータを 13 か月分
	年間データ：月ごとのデータを 20 年分
	電圧上昇抑制履歴：32 日分
	異常履歴：60 件
定格入力電圧	単相 3 線 200 V ±20%
最大消費電力	4 W
使用温度範囲	-10 ~ 40°C (氷結なきこと)
使用湿度範囲	25 ~ 90%RH (結露なきこと)
寸法	W132 × H267 × D60.4 mm (突起物は除く)
質量	0.73 kg

ECHONET Lite 対応プロパティ

本製品は「ECHONET Lite」(エコーネットライト) 通信機能を搭載しています。

ECHONET Lite による機器検索を行うことで、本製品の発見ができ、発電量などの情報をモニタリングすることが可能です。

※ ECHONET Lite にてモニタリングする場合、計測ユニットがルーターに接続されている必要があります。

本製品が対応している機器オブジェクトクラス、プロパティは以下のとおりです。

■ 対応機器オブジェクト

グループコード	クラスコード	クラス名	インスタンスコード	説明
0x02	0x79	住宅用太陽光発電	0x01	表示システム全体

■ 住宅用太陽光発電 EPC

プロパティ名	EPC	アクセスルール
動作状態	0x80	Get
系統連系状態	0xD0	Get
瞬時発電電力計測値	0xE0	Get
積算発電電力量計測値	0xE1	Get
積算売電電力量計測値	0xE3	Get

※本製品は制御機能を有しておりませんので、ECHONET Lite コントローラ/モニタとしてのご使用はできません。ご了承ください。

オープンソフトウェアについて

本ソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含んでおり、IJG (Independent JPEG Group) のソフトウェアを使用しています。その他のオープンソースソフトウェアに関しては、以下をパソコンのブラウザに入力してライセンス文を参照してください。

[http:// \(計測ユニットの IP アドレス\) /licences.txt](http://(計測ユニットのIPアドレス)/licences.txt)

※計測ユニットの IP アドレスは、▶P.31 「パソコンに表示する」の手順 1～手順 2 の操作を行って確認してください。

- 本製品は一部に GPL/LGPL が適用されるオープンソースソフトウェアを使用しております。それらソフトウェアの著作権についてはソースコードと一緒に配布致します。
- これら GPL/LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア (GPL/LGPL ソフトウェア) は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
- 製品販売後少なくとも 3 年間、安川電機は下記の連絡先にお問い合わせされた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、配布に要する費用をご負担いただくことを条件として、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する機械で読み取り可能な完全なソースコードを配布致します。

連絡先：株式会社 安川電機 環境エネルギー機器事業統括部 推進部
TEL (0930) 23-5079 福岡県行橋市西宮市 2 丁目 13 番 1 号 〒 824-8511

商標・登録商標など

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront HEMSConnect を搭載しています。

NetFront® HEMSConnect

- ACCESS, ACCESS ロゴ, NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

© 2013 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™

- 「ECHONET Lite」, 「エコーネット」はエコーネットコンソーシアムの登録商標です。


ECHONET Lite™

保証とアフターサービス

修理、定期点検などのご相談について

表示システムの修理や定期点検に関するご相談や不明点については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お問い合わせの際には、あらかじめ以下の項目をご確認ください。

- ・形式
- ・お買い上げ年月日
- ・販売店
- ・故障状況（表示部の表示内容、製品状態など）

転居されるときは

電気工事の専門業者が取り外し・再設置を行います。お買い上げの販売店にご相談ください。工事費用についてもお買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証書（販売店記入欄）

形式	製造番号
お客様名 _____ 様	
お客様ご住所 〒 _____ 電話番号（ _____ ） _____ - _____	
保証期間 引渡し日から2年間 引渡し日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
販売会社名, 電話番号, 住所	

販売店様へ

所定の項目を記入，または捺印してから，お客様に保証書を渡してください。また，保証書のコピーを販売店様用の控えとして大切に保管し，お客様からの問い合わせへの対応の際に使用してください。

<保証規定>

故障発生に対して，製品の故障を修復させるための修理を行います。修理は，当社の判断によって故障品の修理，もしくは同等性能機種との取り換えとなります。ただし，次の場合は有償となります。

- お客様における不適切な保管や取扱い，日常点検不備，不注意過失などの事由による故障の場合。
- お客様にて当社の了解なく当社製品に改造など手を加えたことに起因する故障の場合。
- 当社製品の仕様範囲外で使用したことに起因する故障の場合。
- 天災や火災など不可抗力による故障の場合。
- 無償保証期間を過ぎた場合。
- その他，当社の責に帰さない事由による故障の場合。

上記サービスは国内における対応とし，国外における故障診断などはご容赦願います。

<保証責務の除外>

無償保証期間内外を問わず，当社製品の故障に起因するお客様側での機会損失に対する補償は当社の保証外とさせていただきます。引き取り修理をする場合の取り外し作業，発送，及び修理後の設置，配線などについては，お買い上げの販売店にお問い合わせください。

<本製品の適用について>

- 本製品は，人命にかかわるような状況の下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計，製造されたものではありません。
- 本製品を，乗用移動体用，医療用の機器，あるいはシステムなど，特殊用途に適用しないでください。

Enewell 取扱説明書

製品に関するお問い合わせ先

製造元

株式会社 安川電機

環境エネルギー機器事業統括部 推進部

TEL (0930) 23-5079 福岡県行橋市西宮市2丁目13番1号 〒824-8511

 YASKAWA

株式会社 安川電機